

Takatori IR REPORT



第60期 株主通信

平成27年10月1日～平成28年9月30日



証券コード：6338

株式会社 **タカトリ**
The Power of "T"
Technology Trust Teamwork

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業年度における経済状況は、世界経済は全体として緩やかな安定成長が続く一方、国内経済は金融緩和により、設備投資、個人消費は多少回復したものの、大幅な景気拡大には至らない状況でありました。

このような経済環境の下、当事業年度の実績につきましては、積極的な営業展開に加え、製造コスト低減及び諸経費の圧縮に努めた結果、営業利益・経常利益・当期純利益は共に黒字となりました。

翌事業年度におきましては、引き続きグローバルニッチ市場に着目し、より高精細・低価格という顧客の要望に応えるべく、常に原価力の強化を意識し、オリジナル製品の開発を既存及び新技術の応用展開によって、有機EL関連市場など、成長が期待される分野を着実に獲得していくと同時に、中国の国策としてスタートした「中国製造2025」を受けて、当社の主要事業である電子機器事業の商品の一層の拡大を狙い、中国戦略室を設け、積極的に営業展開をしていく所存でございます。

また、こうした認識の下、平成28年10月1日より改めて組織変更を行い、ものづくり企業としてタカトリ独自の技術開発に注力し企業価値を高めていくとともに、新経営体制の下、役員・社員が一丸となり更なる会社の発展に努め、高収益企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
増田 誠

代表取締役副社長
松田 武晴

<代表取締役社長就任のご挨拶>

この度、10月1日付で代表取締役社長に就任いたしました増田 誠でございます。

今後とも社業の発展に専念努力いたす所存でございますので、何卒格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

<代表取締役副社長就任のご挨拶>

この度、10月1日付で代表取締役副社長に就任いたしました松田 武晴でございます。

今後とも社業の発展のため一意専心努力いたす所存でございますので、なお一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

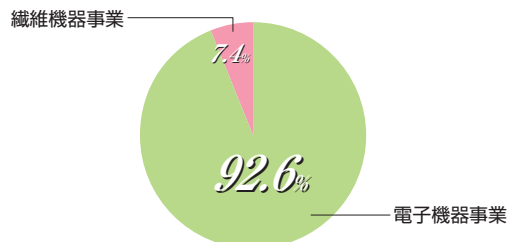
当事業年度における世界経済は、米国では堅調な個人消費を背景に経済が緩やかに持ち直しており、中国においては住宅市場が持ち直すなど、金融・財政政策の効果で経済成長の低下に歯止めが掛かりました。また、ブラジル、ロシアなど不調だった新興国の景気後退も和らぐ兆しが見られ、英国のEU離脱が懸念されていた欧州においても、経済への波及は限定的であると見られ、米国の成長加速が牽引する新興国の成長の持ち直しが欧州経済の減速を吸収すると見られていることから、世界経済は全体として緩やかな安定成長が続きました。

一方、わが国経済は、円高などによる企業業績の悪化に加え、設備投資、個人消費といった主要な民間需要についても不振であり、公共投資と住宅投資の拡大によって景気の腰折れを回避している状況であります。今後も景気拡大には多くを期待できず、個人消費も賃金の伸び悩みにより回復は見込み難いことから、財政金融政策頼みの状況が続くと見られます。

このような経済環境の中、当社が関わる電子部品業界においては、主力であるスマートフォン向けでは高機能化に向けて1台当たりの部品搭載点数が増加傾向にあるほか、自動車やIoT普及などにより需要の増加が期待されましたが、需要の新興国シフトや最終製品メーカー間の競合激化に伴う一段の価格低下も影響し、市場環境は楽観視できない状況となりました。

このような状況の中、電子機器事業では半導体機器の販売額は減少したものの、全体的には堅調に推移いたしました。また、繊維機器事業については好調に推移いたしました。

■ 売上高構成比



電子機器事業

液晶製造機器

液晶製造機器では、スマートフォン及びタブレット等の高機能携帯端末市場が堅調に推移しており、また国内外の大手液晶パネルメーカー及びEMSメーカー(受託生産企業)が先送り傾向にあった設備投資を再開し大量設備導入を行ったことから、小型液晶パネル用偏光板貼り付け機並びにその周辺機器の需要が堅調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は大幅に増加いたしました。



半導体製造機器

半導体製造機器では、省エネルギーで注目を集めているパワー半導体メーカー、省電力化が進む車載用ICチップメーカー及びスマートフォン関連の国内外のチップメーカーからの最先端技術の研究開発及びその量産用の装置需要が低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。



MWS(マルチワイヤーソー)

MWS(マルチワイヤーソー)では、LED関連製品市場の装置需要が依然として回復しない状況が続いておりましたが、若干の回復の兆しが見え始め、スマートフォン基幹部品加工用の切断装置の受注や、その他分野からの受注も堅調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は増加いたしました。



繊維機器事業

繊維機器事業では、アパレル業界においては国内生産拠点の統廃合が進み、経済振興施策(補助金)等を利用した装置の更新、増設への動きが活発化し、アパレル向け裁断機の販売が増加いたしました。またユニフォーム業界を中心に装置のIoT化も含めて、ラベル機の需要の拡大、並びに新製品のペンプロッター機が売り上げに貢献しました。さらに航空機製造業界向けCFRP用裁断機や一般産業向けの裁断機についても販売が好調に推移し、このような状況の中、販売額は大幅に増加いたしました。



医療機器事業

医療機器事業では、第58期より経済産業省が推進する平成25年度課題解決型医療機器等開発事業(現 平成27年度医工連携事業化推進事業)を行っておりましたが、平成28年3月末日をもって完了いたしました。なお、本事業で開発した腹水濾過濃縮再静注法(CART)用の装置「胸腹水濾過濃縮装置T-CART」は、平成28年8月22日付で厚生労働省より製造販売承認を取得しました。また、平成28年10月18日に「ISO13485:2003」を認証取得いたしました。なお、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)が推進する課題設定型産業技術開発費助成金(平成27年度中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業)を活用し、研究開発活動を行っております。

貸借対照表

（単位：千円）

科目	当期 (平成28年9月30日現在)	前期 (平成27年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	5,330,406	4,844,367
固定資産	2,755,846	3,107,566
有形固定資産	2,390,417	2,493,184
無形固定資産	26,336	15,526
投資その他の資産	339,093	598,855
資産合計	8,086,252	7,951,933

科目	当期 (平成28年9月30日現在)	前期 (平成27年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	2,998,634	2,950,991
固定負債	380,490	504,162
負債合計	3,379,125	3,455,153
純資産の部		
株主資本	4,689,311	4,482,729
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	2,391,101	2,184,486
自己株式	△17,342	△17,308
評価・換算差額等	17,816	14,049
純資産合計	4,707,127	4,496,779
負債純資産合計	8,086,252	7,951,933

損益計算書

（単位：千円）

科目	当期 (平成27年10月1日から 平成28年9月30日まで)	前期 (平成26年10月1日から 平成27年9月30日まで)
売上高	7,918,313	6,161,854
売上原価	6,190,389	5,033,143
売上総利益	1,727,923	1,128,711
販売費及び一般管理費	1,558,244	1,399,723
営業利益又は営業損失(△)	169,679	△271,011
営業外収益	179,669	151,994
営業外費用	13,912	17,675
経常利益又は経常損失(△)	335,436	△136,692
特別利益	7,291	113,803
特別損失	186	514
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	342,542	△23,403
法人税、住民税及び事業税	3,742	3,506
法人税等調整額	77,579	87,246
当期純利益又は当期純損失(△)	261,220	△114,155

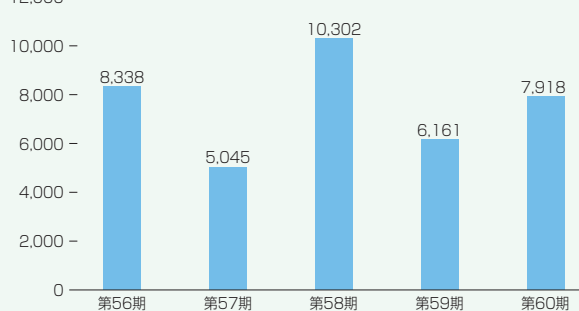
キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当期 (平成27年10月1日から 平成28年9月30日まで)	前期 (平成26年10月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	998,883	1,078,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	175,188	141,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	△456,303	△1,124,660
現金及び現金同等物に係る換算差額	△452	26
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	717,316	95,580
現金及び現金同等物の期首残高	1,609,632	1,514,052
現金及び現金同等物の期末残高	2,326,949	1,609,632

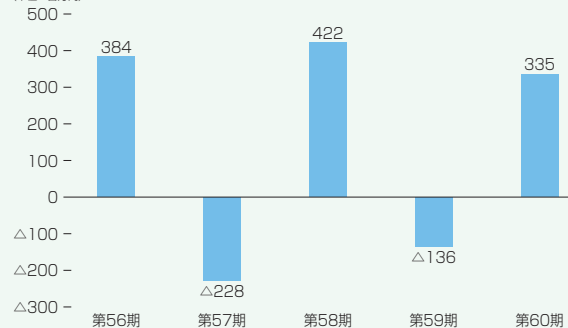
売上高

(単位：百万円)



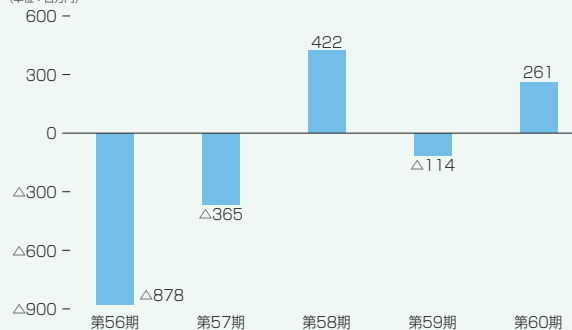
経常利益又は経常損失 (△)

(単位：百万円)



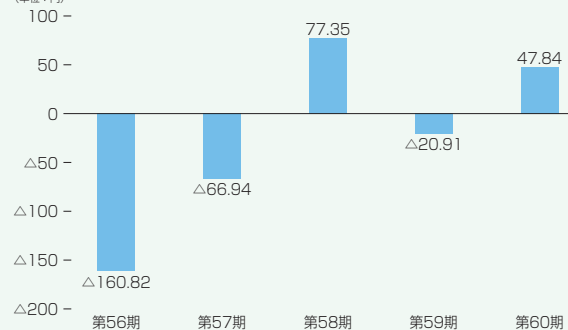
当期純利益又は当期純損失 (△)

(単位：百万円)



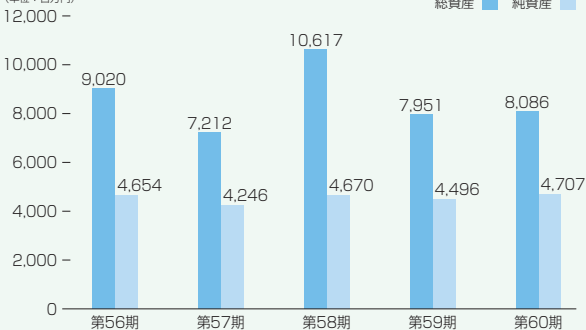
1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△)

(単位：円)



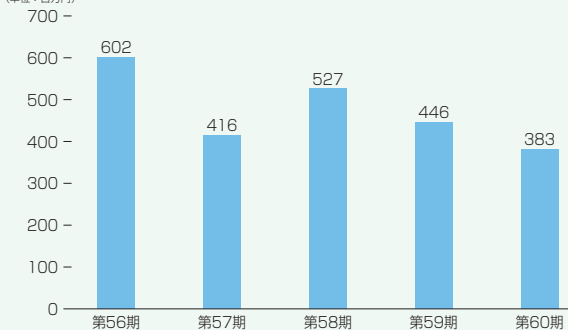
総資産／純資産

(単位：百万円)



研究開発費

(単位：百万円)



■医療機器事業

- 平成28年8月22日
「胸腹水濾過濃縮装置T-CART」の製造販売承認を取得
- 平成28年9月16日
高度管理医療機器等販売業及び貸与業許可を取得
- 平成28年10月18日
「ISO13485:2003」を認証取得



▲「胸腹水濾過濃縮装置T-CART」
の製造販売承認許可書

◀「胸腹水濾過濃縮装置T-CART」

■補助金採択状況

- 平成28年6月
中小企業庁が推進する平成27年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金に「高齢者のQOL向上を目指したモバイル型振動発生機器の開発」が採択されました。
- 平成28年7月
NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)が推進する平成28年中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業に「先端材料向け高品位・高効率な革新ロボットワイヤーソーの開発」が採択されました。



▲ロボットワイヤーソー

◆CAMX(複合材及び先端材料展示会)

平成28年9月27日～平成28年9月29日
アメリカ・カリフォルニアで開催されたCAMX展にて、当社の代理店ブースに出展いたしました。
ハニカムや炭素繊維の切断に最適であるロボットワイヤーソーを全世界にアピールいたしました。



▼CAMX展



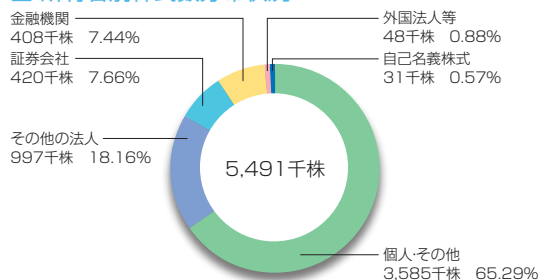
株式の状況 (平成28年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	17,000,000株
■ 発行済株式の総数	5,491,490株
■ 株主数	2,541名
■ 大株主	

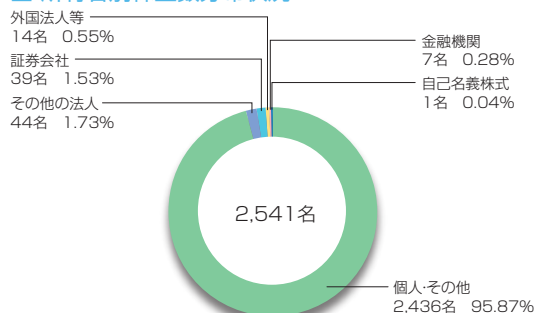
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有) コ ト ブ キ 産 業	375	6.88
タ カ ト リ 共 栄 会	329	6.04
西 村 幸 子	189	3.47
大 阪 中 小 企 業 投 資 育 成 (株)	187	3.43
仙 波 周 子	179	3.28
高 鳥 政 廣	168	3.09
岡 島 恵 子	167	3.07
タ カ ト リ 従 業 員 持 株 会	131	2.41
(株) 南 都 銀 行	95	1.74
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	94	1.73

(注) 持株比率は自己株式(31,092株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式数分布状況



■ 所有者別株主数分布状況



会社概要 (平成28年9月30日現在)

■ 商 号	株式会社タカトリ
■ 本 社	奈良県橿原市新堂町313番地の1 TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616
■ 関 連 会 社	株式会社エムテーシー 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-705-1
■ 営 業 所	九州営業所 熊本県合志市幾久富1909-539
■ 設 立	昭和31年10月
■ 資 本 金	963,230千円
■ 代 表 者	代表取締役社長 増田 誠 代表取締役副社長 松田 武晴
■ 従 業 員	215名(顧問・嘱託・パートタイマー除く)
■ 事 業 内 容	電子部品製造機器の製造及び販売、繊維機械の製造及び販売、医療機器の開発

役員 (平成28年12月22日現在)

■ 代表取締役社長	増田 誠
■ 代表取締役副社長	松田 武晴
■ 取 締 役	出口 昌道
■ 取 締 役	岡島 史幸
■ 取 締 役	森嶋 一喜
■ 取締役(社外)	川村 真
■ 常 勤 監 査 役	大島 章良
■ 監査役(社外)	山田 磯子
■ 監査役(社外)	大西 大介

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会 9月30日 剰余金の配当 期末9月30日 中間3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告とする。 当社ホームページ (http://www.takatori-g.co.jp) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.takatori-g.co.jp>



Facebookのご案内



平成28年5月10日より、
タカトリ公式Facebookページを
開設いたしました。



株式会社タカトリ
The Power of "T"
Technology Trust Teamwork

奈良県橿原市新堂町313番地の1